

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 99 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1. 日 時：2024年8月2日（金）13：30 ～ 16：10

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者：（敬称略）

（出席委員） 佐々木部会長，宮澤副部会長，藤原幹事，浅野，飯田，石原，井出，菊池，小澤，小松原，齊藤，坂井，白井，高橋(秀)，高橋(浩)，立川，中島，山本(武)，山本(正)（19名）

（代理出席） 駒月誠治（中部電力／生田代理）（1名）

（欠席委員） 柳原（1名）

（委員候補） 生駒英也（関西電力），花山育志（原子燃料工業）（2名）

（常時参加者） 酒井，田村，古田（3名）

（欠席常時参加者） 大塚，佐藤（2名）

（説明者）【リサイクル燃料貯蔵分科会】白井幹事，清水委員，松本委員

【ウラン・TRU 取扱施設クリアランスレベル検認分科会】高橋(聡)幹事

【LLW 処分安全評価分科会】杉山主査，竹内幹事，中居委員

【LLW 放射能評価分科会】田村幹事

【輸送容器分科会】海老原幹事（延べ9名）

（事務局）大沼，平野（2名）

4. 配付資料：（議事録末尾に一覧を掲載）

5. 議事内容

事務局から開始時，委員 21 名中，20 名が出席しており，成立に必要な定足数（14 名以上）を満足している旨が報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（FTC99-1）

前回議事録（案）について，事前に配付されていた資料 FTC99-1 にて，承認された。

(2) 人事（FTC99-2）

事務局から FTC99-2 に基づき，専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり，委員の退任等が確認され，審議の結果，委員の選任・承認等が決議された。

【専門部会】

◆ 決議事項

(1) 委員選任

生駒 英也	関西電力
井原 智則	東京海洋大学
花山 育志	原子燃料工業

(2) 委員再任

高橋 浩之	東京大学	2024.12～2026.11
-------	------	-----------------

◇ 確認事項

(1) 委員退任

井出 秀一	原子燃料工業	2024.08.02
片岡 秀哉	関西電力	2024.07.01
久保 稔	総合科学研究機構	2024.05.24

【分科会】

○輸送容器分科会

◇確認事項

(1)委員退任

久保 稔 総合科学研究機構 2024.05.24

松岡 祐作 関西電力 2024.06.28

(2)常時参加者登録解除

伊藤 賢司 神戸製鋼所 2024.05.15

蓬田 大樹 日本原子力発電 2024.06.26

(3)主査退任

久保 稔 総合科学研究機構 2024.05.24

○リサイクル燃料貯蔵分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

山田 晃司 関西電力

◇確認事項

(1)委員退任

松岡 祐作 関西電力 2024.06.28

(2)常時参加者登録解除

菊池 尚嗣 オー・シー・エル 2024.06.30

木下 国治 原燃輸送 2024.06.30

(3)常時参加者登録承認

岡部 幸夫 原燃輸送

○LLW 処分安全評価分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

大石 英希 日本原燃

小林 大志 京都大学

◇確認事項

(1)委員退任

小澤 孝 日本原燃 2024.07.01

(2)常時参加者登録解除

大石 英希 日本原燃 2024.07.01

(3)常時参加者登録承認

北城 諒一 日本原燃

○臨界安全管理分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

赤池 正則 日立 GE ニュークリア・エナジー

名内 泰志 電力中央研究所

◇確認事項

(1)常時参加者登録承認

佐藤 駿介 電力中央研究所

(3)【報告・審議】(FTC99-3-1~5)

“使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX”（改定案）標準委員会の書面投票結果及びご意見に対する回答について

（担当：事務局，リサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事，清水委員，松本委員）

説明者から資料に基づき、題記に関する書面投票のご意見への対応が説明され、審議の結果、本日のコメント、未反映部分を修正したうえで、9月の標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C：標準委員会コメント対応資料の濁点の落ち、本文英語表記で見直しが必要と思われる箇所がある。

A：ご指摘の箇所を適切に修正する。また、転載許諾で追加修正箇所があり、転載元に確認の上、修正する。

Q：次回9月の標準委員会へ報告する資料（本日のコメント等を反映したもの）については、どのように確認するか。

A：見直し版を作成したら、専門部会三役に確認いただくこととしたい。

(4) 【報告・審議】 (FTC99-4-1~3)

“ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X” 改定案に関する専門委員意見への対応について

(担当：ウラン・TRU 取扱施設クリアランスレベル検認分科会 高橋幹事)

説明者から資料に基づき、前回の書面投票における反対票への対応等について説明があり、審議の結果、反対票は解消されたとみなせること、また修正内容は編集上の修正の範囲であると考えられることが確認され、本日のコメントを反映した資料にて次回の標準委員会へ本報告することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C：本文3.18に「及び」が連続する箇所があり、分かりにくい。

A：検討する。

Q：適用範囲で加工施設からMOX加工を除けばウラン加工となるのか、日本にはないがトリウム燃料も該当するのではないか？

A：規制委員会の放射能濃度の審査基準に同様な記載があり、これを拠り所としている。

Q：6.2b)のNRAの審査基準は正式名称にした方が良いのではないか

A：正式名称が長いため、注記で挿入する。

(5) 【報告・審議】 (FTC99-5-1~4)

発行済の標準“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法－中深度処分編：2023”における誤記の発見について（最終報告）

(担当：LLW 処分安全評価分科会 杉山主査、竹内幹事、中居委員)

説明者から資料に基づき、題記の誤記対応について説明があり、審議の結果、本日のコメントを反映した内容を専門部会三役が確認したうえで、次回の標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：誤記の影響に関して具体的に使用された実績はあるか。あるなら明記要。

A：使用実績はないと思う。その旨を資料に追記する。

Q：正誤表の周知の方法はどうか。

A：グレードによるが、今回は②を考えている。

C：すべてのグラフに核種を追記しているが、必ずしも分かりやすくなったとは限らず、逆に分かりにくくなっているケースもある。できる範囲で、分かりやすい表記を考えてほしい。

A：表示する核種及びその表記方法について再度検討する。

(6) 【報告】 (FTC99-6-1~3)

L1 放射能評価標準の技術評価対応への振り返り（最終版）

(担当：LLW 放射能評価分科会 田村幹事)

説明者から資料に基づき、L1放射能評価標準の技術評価対応への振り返りの最終版について説明があり、本日の資料を8月の標準活動基本戦略タスクに報告することとした。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C：9月の標準委員会への報告は時期尚早ではないかと思う。この資料を8月の標準活動基本戦略タスクにて説明するのがよいのではないか。標準委員会への報告は、当該標準の改定方針が固まった段階で併せて報告とした方がよいと思う。

C：次へつなげることを考えると、当該分科会だけでなく、今活動している他の分科会へも、振り返り資料を早めに共有した方がよい。

A：技術評価運営細則の改定で周知できると考える。ただし、この細則に振り返り資料の対応策がそのまま入るわけではない。必要に応じて、振り返り資料を細則の別紙として付ける方法もある。

C：事業者から技術評価要望に含まれているものであり、そのスケジュールとの関係も踏まえて細則の改定を進める必要がある。

A：振り返り資料も踏まえた標準の改定方針の検討には事業者にも入ってもらっており、スケジュールについても念頭において進めている。

C：規制庁に対しても、更に積極的な参画を得られるように働きかけていくとよい。

A：規制庁は常時参加者として参画することになっており、その立場での意見を伺うことは可能。

C：規制庁としても積極的に参加することにしており、上位の委員会だけでなく、実際の作業をしている場へも参加していくことも考える。

C：規制庁全体を代表した意見を得られるかどうかは、必ずしも全員ができるものでもなく、反って難しい仕組みになる懸念もあるので、それも考慮した仕組みづくりが必要。

(7)【報告】(FTC99-7)

分科会活動状況について

(担当：各分科会代表者等の関係者)

分科会の活動状況について各分科会から説明があった。

特に質疑、コメント等は無かった。

6. その他

(1) 藤原幹事から次の依頼があった。

- ・専門部会委員交代もあったため、あらためて全委員に倫理教育自主学習等の依頼メールを送付する。次回専門部会の2週間前までに返答いただきたい。
- ・原子力学会 2025年春の年会での標準委員会主催企画セッションのテーマ候補があれば、後日でもよいので幹事まで連絡いただきたい。

(2) 事務局から次の連絡があった。

- ・JIS Z 4001が廃止方向であり、これを引用している標準は対応が必要となるが、現在、標準活動基本戦略タスクでその対応について検討中である。

(3) 今後の予定

次回は、2024年11月12日(火)13:30からの開催に決定した。

【配付資料】

- FTC99-0 第99回原子燃料サイクル専門部会議事次第
FTC99-1 第98回原子燃料サイクル専門部会議事録(案)
FTC99-2 人事について(案)
FTC99-3-1 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX”改定案に関する書面投票結果【SC23-09】の結果について
FTC99-3-2 金属キャスク標準改定の標準委員会のご意見に対する対応(書面投票SC23-09の意見対応)
FTC99-3-3 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX」(改定案)学会事務局コメント、転載許諾に対する対応

- FTC99-3-4 日本原子力学会「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX」(改定新旧比較表)
- FTC99-3-5 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX”(改定案完本)
- FTC99-4-1 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”(改定提案の本報告)
- FTC99-4-2 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”(新旧比較表)
- FTC99-4-3 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”(改定案完本版)
- FTC99-5-1 AESJ-SC-F012:2023“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法－中深度処分編：2023”発行後の誤記発見について(最終報告)
- FTC99-5-2 低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法－中深度処分編：2023発行後の誤記発見について(最終報告)
- FTC99-5-3 AESJ-SC-F012_2023の誤記チェックの結果について
- FTC99-5-4 AESJ-SC-F012_2023_修正ページ
- FTC99-6-1 L1 放射能評価標準の技術評価対応への振り返り(最終版)
- FTC99-6-2 (別紙)技術評価振り返りと具体的対応
- FTC99-6-3 (補足資料)技術評価振り返り資料の変更箇所(比較表)
- FTC99-7 分科会の活動状況について

参考資料

- FTC99-参考1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿
- FTC99-参考2 原子燃料サイクル専門部会出席実績

以 上